

管理者教育カリキュラム 第1ステージ



主催：公益社団法人 熊本県理学療法士協会 教育部 管理・運営教育班

講師一覧：カリキュラム順



吉田 道雄 先生
熊本大学教育学部
教授



岩崎 浩思 先生
熊本市保健所 医療政策課
技術参事



小川 克巳 先生
公益社団法人
日本理学療法士協会
副会長



徳丸由美子 先生
ICC 国際コーチ連盟
認定コーチ



野村 一俊 先生
医療法人朝日野会
朝日野総合病院
病院長



橋本洋一郎 先生
熊本市立熊本市市民病院
診療部長
神経内科部長
地域連携室長



菊池 健 先生
熊本大学医学部附属病院
医療の質管理センター
副センター長・准教授



西田 良生 先生
日本科学技術連盟
QC 専任講師
QC 指導員

ごあいさつ

公益社団法人 熊本県理学療法士協会
会 長 北里 堅二

管理者教育カリキュラム（第1ステージ）開催に際して

4月になり、新たな年度を迎えました。熊本県理学療法士協会は平成25年4月1日より公益社団法人として新たなスタートを切りました。これからも、今まで以上に県民の皆様の保健・医療・福祉の向上に寄与することが出来るよう、心を新たに活動を続けてゆきたいと思っています。今後も変わらぬ御理解、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、近年の急激な療法士養成数の増加に伴い、当協会も今年度中には2000名を超える会員を抱える組織となる模様です。このような職域環境の急激な変革に対応し、われわれ理学療法士自身の質の担保を図るため、当協会では、教育事務局を中心に新人教育や生涯教育の充実に力を入れて活動を進めています。その一環として、管理者研修を開催し、職場の幹部またはその候補者に対し、管理能力の向上・職場環境の整備方法などについて教育をはじめ、4年目を迎えました。

一施設の療法士数が10名を超える施設も珍しくなくなった昨今、管理職として働く、またはこれから管理職になろうとするものにとって重要な事項を、県内外から選りすぐりの講師陣をお招きし、今年度も延べ8日、45時間にわたって幅広い内容の講義をお願いする予定です。これまでの講義でも、参加者に大変好評を博しており、これだけの講師陣の話の一度に聞ける機会はそうはないものと自負しております。是非、一人でも多くの方がこの講義を受け、質の高い職場作りや管理の方法を身につけていただくことを心より希望する次第です。

このカリキュラムが参加いただける皆様にとって意義深いものになることを心より祈念いたしまして、開催の際してのご挨拶とさせていただきます。

管理者教育カリキュラム（第1ステージ）実施要綱

目的：中堅管理職として、マネジメントの基礎から応用まで幅広い知識を学ぶと共に、臨床実習教育や卒後（職場）教育といった人材（財）育成を理解し実践できる管理者の育成を行う。

対象者：公益社団法人日本理学療法士協会会員および医療職（OT、ST等）

定員：20名 ※先着順で定員になり次第締切り

期間：平成25年6月～12月（日程はスケジュール表を参照）

会場：熊本保健科学大学 〒861-5598 熊本市和泉町325

料金：《会員》¥50,000-、《非会員》¥70,000-（全日程、資料代込み）

※会員とは(公社)日本理学療法士協会会員を指す。別途、交通・宿泊費は各自負担

講師：吉田 道雄（熊本大学教育学部 教授）
岩崎 浩思（熊本市保健所医療政策課 技術参事）
小川 克巳（公益社団法人日本理学療法士協会 副会長）
徳丸由美子（I C C 国際コーチ連盟認定コーチ）
野村 一俊（医療法人朝日野会朝日野総合病院 病院長）
橋本洋一郎（熊本市立熊本市市民病院 診療部長）
菊池 健（熊本大学医学部附属病院医療の質管理センター 副センター長）
西田 良生（日本科学技術連盟 Q C 専任講師）

※カリキュラム順、敬称略

認定：全過程修了者には修了証が授与される。

募集：募集期間 平成25年4月22日（月）～5月25日（土）必着

申し込み方法：下記内容を明記の上、E-Mailにて申し込む。

申し込み内容：①氏名（ふりがな）②生年月日（年齢）③所属施設④役職⑤所属住所（郵便番号から）⑥TEL⑦E-Mail⑧会員番号（非会員は職種）⑨所属県士会

申し込み先：kanri01stage@yahoo.co.jp（専用アドレス）

お問合せ先：にしくまもと病院 理学療法課 前田 英児

〒861-4157 熊本市南区富合町古閑1012番地

TEL：096-358-1118 FAX：096-358-1099

※注意！！

申し込み後の確認や支払方法、その他の連絡事項は全て E-Mail（携帯でも可）にて行います。必ずご記入下さい。もしもアドレスをお持ちでない方はお問い合わせ下さい。

また、携帯電話・PHSの場合はPCからのメール受信を可能に設定しておいてください。

公益社団法人熊本県理学療法士協会

管理者教育カリキュラム（第1ステージ）スケジュール表

6月		テーマ	内 容	講師(敬称略)	備 考	時間(分)	単位
20日 (木)	12:45~	開講式			熊本県PT協会	15	—
	13:00~ 17:00	「グループ・ダイナミクス 対人関係の基礎 知識から意識へ、そして行動へ」	グループマネジメントの基礎理論を 中心に、集団の力動的諸機能を理 解し、円滑な関係を成立する為の 諸理論を学ぶ。	吉田 道雄	熊本大学教授	240	2.7
21日 (金)	9:00~ 12:00	医療安全・院内感染 (リスクマネジメント)	医療安全管理、院内感染対策につ いて、現場を管理する管理者として の視点を学び、教育・訓練に役立 てる。	岩崎 浩思	熊本市保健所 地域医療課 技術参事	180	2
	13:30~ 16:30	リハ関連職種の歴史的背景 (法制度も含む)	日本におけるリハ関連職種(理学 療法を中心として)の歴史と変遷、 近年の医療情勢下での問題点・課 題について。 リハ専門職として、管理者に要求 されることについて学ぶ。	小川 克巳	公益社団法人 日本理学療法士協会 副会長	180	2
8月							
15日 (木)	13:00~ 17:00	コミュニケーションスキル	マネジメント、部下育成等に必要 なコミュニケーションスキルを学ぶ	徳丸 由美子	ICG国際コーチ連盟 認定コーチ (青磁野 リハビリテーション病院)	240	2.7
16日 (金)	8:00~ 12:00	チームビルディング	チームビルディング、ビジョンメイ キングについて学ぶ			240	2.7
	13:00~ 15:00	地域医療連携 (地域完結型医療・連携バス) ◎ 大腿骨近位部骨折	地域医療連携についての基礎理 解と、病病・病診連携の必要性、 地域連携バスについて学ぶ。	野村 一俊	朝日野総合病院 病院長	120	1.3
	15:00~ 17:00	地域医療連携 (地域完結型医療・連携バス) ◎ 脳血管疾患(CVA)	地域医療連携についての基礎理 解と、病病・病診連携の必要性、 地域連携バスについて学ぶ。	橋本 洋一郎	熊本市立 熊本市民病院 診療部長 神経内科部長 地域連携部長	120	1.3
10月							
17日 (木)	13:00~ 17:00	マネジメントI(管理の基本)	人事・労務・財務、PDCA、育成型 人事考課他を学ぶ	菊池 健	熊本大学准教授 医学部附属病院 医療の質管理センター 副センター長	240	4
18日 (金)	8:00~ 12:00	マネジメントII(管理の実践)	統計、リーダーシップ、コーチング、 苦情対応、医療訴訟、その他の具 体的な対応方法を学ぶ			240	2.7
	13:00~ 17:00	「グループ・ダイナミクス 対人関係のスキルアップ 行動変容のノウハウ探し」	チームリーダーとしての役割につ いて、リーダーシップ、メンバーシ ップ、アサーティブネスについて学 ぶ。	吉田 道雄	熊本大学教授	240	2.7
12月							
19日 (木)	13:00~ 17:00	問題解決 (QC手法・基礎)	事例を通じて、QC手法を学び、問 題解決に対するロジカルシンキン グを理解する。	西田 良生	QCサークル九州支部 副世話人 QCサークル 中部九州地区 幹事長・本部指導員	240	2.7
20日 (金)	9:00~ 17:00	問題解決 (QC手法・実践と応用)	また、グループワークを通じ、組織 的検討の重要性、効果を理解す る。観察力・洞察力を身につける。			420	4.7
	17:00~	終講式			修了証授与(熊本県会長より)	15	
						2700	31.5

※ 休憩は随時取ります。昼食は 12:00~13:00

講師紹介：「リハ関連職種の歴史的背景（法制度も含む）」

小川 克巳（ おがわ かつみ ）先生 プロフィール

現職：沖縄リハビリテーション福祉学院 副学院長・理学療法学科長
公益社団法人日本理学療法士協会 副会長（事務局・社会・職能担当）
リスクマネジメント協会(日本 RIMS 支部)認定 MRM

略歴

1973 年：九州リハビリテーション大学卒業
理学療法士免許取得
1981 年：熊本リハビリテーション学院
2010 年：同上、姉妹校と統合して熊本総合医療リハビリテーション学院と改称
2011 年：沖縄リハビリテーション福祉学院 副学院長兼理学療法学科長として赴任
現在に至る。

1992 年～2003 年：社団法人熊本県理学療法士協会 会長
1985 年～2001 年：社団法人日本理学療法士協会 代議員
1998 年～2001 年：社団法人日本理学療法士協会 九州ブロック代表会長
2001 年～ : 社団法人日本理学療法士協会 理事
2007 年～ : 副会長・事務局長
2012 年～ : 公益社団法人日本理学療法士協会 副会長(事務局・社会・職能担当)

～メッセージ～

耳に心地よい話ばかりにはならないと思いますが、現状を踏まえてこそその未来であることを念頭に置いて、理学療法士・作業療法士に関する現行法制下における限界と可能性、さらには将来的ビジョンについて、歴史的経緯を踏まえつつ、いまなぜ管理者教育が必要なのか、率直にお話ししたいと考えています。

講師紹介：「医療安全・院内感染」

岩崎 浩思（ いわさき ひろし ）先生 プロフィール

現職：熊本市保健所 医療政策課 技術参事

略歴

1979年：熊本大学医学部附属診療放射線技師学校卒業
同 年：熊本市に入職 保健所・保健センター
1981年：熊本市市民病院 放射線科勤務
1988年：熊本市立産院勤務
1989年：熊本市市民病院 中央放射線部勤務
1999年：熊本市保健所 地域保健課勤務(医療法事務)
2002年：熊本市市民病院 中央放射線部主任技師
2006年：熊本市保健所 地域医療課技術参事(医療法事務)
2012年：熊本市保健所 医療政策課

現在に至る

撮影、放射線治療、CT等に臨床従事、医療法事務、病院立入検査業務、放射線管理

1995年：日本放射線技師会推薦により国際医療貢献事業に参加、放射線治療分野における品質管理としてタイに技術支援

2010年：国立保健医療科学院医療安全管理者研修終了

～メッセージ～

このたびは、皆様のスキルアップの研修において医療安全に関する研鑽の場に参加させていただく機会を与えていただきましてまことにありがとうございます。

私も医療の現場を経験して多くの患者と向き合ってきました。現場での出来事などを思い出しながら、今の業務につながることを日々模索している毎日です。本日は、経験を踏まえながら、法律の求める「医療安全」をできるだけ具体的にわかりやすく皆様にお示しできればという意気込みで臨んでまいります。

今回の話が今後皆様の業務に少しでも役立てていただければ幸甚に存じます。

講師紹介：「グループ・ダイナミクス 対人関係の基礎とスキルアップ」

吉田 道雄（ よしだ みちお ）先生 プロフィール

現職：熊本大学 教授（グループ・ダイナミクス）、博士（学術）

略歴

1976 年：九州大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学
九州大学助手、鹿児島女子短期大学講師を経て

現 在：熊本大学教授、博士（学術）

主著

実践的リーダーシップトレーニング 2008 年 メヂカルフレンド社
人生をよりよく生きるノウハウ探し 2007 年 熊本日日新聞社
人間理解のグループ・ダイナミクス 2001 年 ナカニシヤ出版
リーダーシップと安全の科学（共著） 2001 年 ナカニシヤ出版

～メッセージ～

私的／公的を問わず、集団の中で生きる私たちにとって、望ましい対人関係を創り上げることが求められています。この講座では、そのための実践的なスキルを身に付けることを目標にしています。第 1 回目では、職場で自分たちに求められている行動を分析し、実践する目標を立てます。それを実際に試みた後で、第 2 回目で、実践結果をふりかえりながら、さらにスキルの定着を図ります。

講師紹介：「コミュニケーションスキル，チームビルディング」

徳丸由美子（とくまる ゆみこ）先生 プロフィール

現職：医療法人金澤会 青磁野リハビリテーション病院

リハビリテーション部部长、作業療法士

ICC 国際コーチ連盟認定コーチ

略歴

熊本リハビリテーション学院作業療法学科、産能大学経営情報学科卒業

青磁野リハビリテーション病院において、リハビリテーション施設、通所事業、併設老人保健施設、在宅介護支援センター、地域リハビリテーション広域支援センター等の開設等に携わる。

1993 年より法人内の企画広報、増改築計画等の業務を担当。

1995 年より、リハビリテーション部のマネジメントを兼務する。階層別教育講座に着手。

2003 年より現職となる。

<組織外研修実績>

2008 年～ 熊本県理学療法士協会卒後教育研修会、熊本県作業療法士会現任者研修会

2008 年 南九州コカ・コーラボトリング株式会社メンタルヘルスマネジメント研修

2008 年 日本コーチ協会熊本支部コーチフォーラム「医療人のためのチーム運営講座」

2010 年～ 熊本県理学療法士協会管理者教育カリキュラム ほか

<学会、資格等>

日本作業療法士協会会員

日本コーチ協会正会員、ICC 国際コーチ連盟認定コーチ

メンタルヘルスマネジメント検定Ⅱ種、日本 HIS 研究センター広報プランナー ほか

～メッセージ～

組織力を向上させるには、ひとりひとりのコミュニケーション能力を高め、潜在能力を引き出す関わりが大切です。組織の業績向上、職場風土改善、モチベーションアップに役立つ実践的なトレーニングを提供します。

講師紹介：「地域医療連携（地域完結型医療・連携パス）◎大腿骨近位部骨折」

野村 一俊（ のむら かずとし ）先生 プロフィール

現職：医療法人朝日野会 朝日野総合病院 院長

略歴

1974年：3月 熊本大学医学部卒業
同 年：4月 熊本大学医学部整形外科入局
1980年：4月 国立熊本病院 整形外科医師
1987年：4月 国立熊本病院 整形外科医長
1992年：1月 国立熊本病院 地域医療研修センター主幹(併任)
同 年：4月 国立熊本病院 研修部長(併任)
1999年～2013年：熊本大学医学部臨床教授（運動骨格病態学）
2004年：4月 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 統括診療部長
2012年：4月 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 副院長
2013年：4月 医療法人朝日野会 朝日野総合病院 院長

その他学会・資格・役職等

日本整形外科学会専門医
日本リウマチ学会専門医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医

日本整形外科学会理事
日本医療マネジメント学会理事
日本リウマチ学会評議員
西日本整形災害外科学会評議員
九州リウマチ学会評議員

～メッセージ～

テーマ：地域完結型医療と地域連携クリティカルパス

今、地域医療は、自己完結型医療から地域完結型医療へと急速に変化しつつあります。医療機関の機能分化が進む中、如何にして医療機関のスムーズな連携を行い、患者・家族の理解を得るかが課題となっています。課題解決には連携医療の標準化が必要であり、その最も有用なツールが地域連携クリティカルパスです。地域連携クリティカルパスの有用性・必要性を理解して頂くために、クリティカルパス・地域連携クリティカルパスの概念と大腿骨近位部骨折の地域連携クリティカルパスの実際を紹介します。

講師紹介：「地域医療連携（地域完結型医療・連携パス）◎脳血管疾患」

橋本洋一郎（ はしもと よういちろう ）先生 プロフィール

現職：熊本市市民病院 診療部長・神経内科部長・地域連携部長

熊本大学医学部 臨床教授

略歴

1981年：鹿児島大学医学部 卒業

同 年：熊本大学医学部 第一内科

1984年：国立循環器病センター 内科 脳血管部門

1987年：熊本大学医学部 第一内科 助手

1993年：熊本市市民病院 神経内科医長

1998年：熊本市市民病院 神経内科部長

（1998年9月～12月ドイツのハイデルベルグ大学医学部神経内科に短期留学）

2011年：熊本市市民病院 診療部長・神経内科部長・地域連携部長

その他学会・資格・役職等

日本神経学会（評議員、専門医、指導医）、日本脳卒中学会（幹事、評議員、専門医）

日本リハビリテーション医学会（評議員、専門医、指導責任者）

日本頭痛学会(理事、専門医、指導医)、日本内科学会(認定医、指導医)

日本神経治療学会（評議員）、日本脳神経超音波学会（評議員）

日本栓子検出と治療学会(理事、評議員、2005年会長)

日本脳ドック学会（評議員）、日本クリニカルパス学会、日本禁煙学会(評議員、専門医)

日本神経心理学会（評議員）、日本高次機能学会(評議員)、

日本静脈経腸栄養学会(認定医、NST 専門療法士認定教育施設指導医)

《メッセージ》

医療の高度・専門化あるいは機能分化が進む中で、①良質かつ適切な医療の提供、②地域の医療資源の有効活用、③診療報酬（医療政策）、④患者・家族と医療者の満足度向上などの面から、医療連携は益々必要となっている。脳卒中の予防、早期受診・早期治療、継ぎ目のない医療を提供するために、①かかりつけ医、②急性期病院、③リハ専門病院、④維持期のリハ・ケアを行う療養型病院や老人保健施設など、の4つのチームで、脳卒中診療ネットワーク構築を積極的に進めなければならない。医療連携には多くの困難を伴うが、多くの脳卒中診療の問題点を解決できる。医療連携推進の1手段として地域連携クリティカルパスが登場してきた。急性期は『疾病』、回復期は『障害』、維持期は『生活』と病期によって対象が変化し、急性期では疾病の治療（入院診療計画書、クリティカルパス）、回復期はリハ総合診療計画書(リハプログラム)、維持期はケアプラン(リハ実施計画書、リハマネジメント)が必要である。脳卒中の地域連携パスには「治療の継続性」と「リハビリテーションの継続性」の2つの柱が必要である。脳卒中診療の『均てん化』の1つの手段として地域連携パスは有用である。

講師紹介：「理念→方針→組織→人事の関係性，目標管理とは」

菊池 健（きくち けん）先生プロフィール

現職： 熊本大学 准教授

医学部附属病院 医療の質管理センター 副センター長

熊本大学大学院 大学院 社会文化科学研究科 人間・社会科学専攻 交渉紛争解決

組織経営専門職コース 専任教員

熊本大学保有個人情報アドバイザー

日本品質管理学会代議員

略歴：

1974年 東北工業大学電子工学科卒業

1974年～1979年 東洋サッシ工業

1979年～1985年 トーヨーサッシ 主任

1985年 東洋流通サービス 係長

1985年～1991年 マニユファクチュラース・ハノーバー銀行 システム課マネジャー

1991年～1995年 ケミカル銀行 営業部 アシスタント・バイス・プレジデント

1995年～1997年 チェース・マンハッタン銀行 ヘルプデスク・マネジャー、テクノロジー・オフィサー

1997年～2002年 ナショナル オーストラリア銀行 システム部長、事務管理部長

2000年7～11月 オーストラリア（メルボルン）のマウント・エライザ・ビジネススクールに短期留学

2003年～2004年 バイエリッシェ・ヒポ・フェラインス銀行東京支店 コンプライアンス・ジェネラルマネジャー

2004年 4月 熊本大学助教授 医学部附属病院 医療情報経営企画部

2008年 3月 熊本大学准教授 医学部附属病院 認証取得推進室 室長

2009年 9月 熊本大学准教授 医学部附属病院 医療の質管理センター（副センター長）

現在に至る

メッセージ：

マネジメントの基礎として人事・労務・財務の基本的視点，目標管理（PDCA サイクル），育成型人事考課他の考え方と基本的な活用方法を学びます。上司や他部署説得に必要な統計、スタッフをまとめるリーダーシップ、スタッフ対応に必要なコーチング、患者との苦情対応、やむなく生まれる医療訴訟、その他の話題について事例に基づき具体的な対応方法を学びます。重要な事項はワークショップ形式での習得を目指します。

講師紹介：「問題解決（QC手法・基礎，実践と応用）」

西田 良生（ にしだ よしお ）先生 プロフィール

現職：日本科学技術連盟QC専任講師

QC指導士

略歴

1969年：（株）ブリヂストン 久留米工場入社

2006年：（株）ブリヂストン 久留米工場定年退職

同 年：退職後、引続き嘱託にて勤務

2011年：同退職（嘱託終了）

◎社内活動内容

入社時、製造第一課配属となりタイヤ製造に従事する。その後、その経験・知識を活かし海外工場建設支援に携わる。帰国後、技術課、品質保証課でタイヤの性能、製造技術課、品質保証課を経験して、モノづくり安全推進室に所属し、研修業務担当となり、社内・外のQC教育を実施していた。

◎QCサークル活動（社外）

1994年（財）日本科学技術連盟幹事に登録してQCサークル社外活動開始する。

下記役職歴任および現在

- QCサークル中部九州地区幹事
- QCサークル中部九州地区副幹事長
- QCサークル中部九州地区世話人
- QCサークル中部九州地区幹事長
- QCサークル九州支部副世話人
- （財）日本科学技術連盟認定本部講師
- QCサークル指導士
- 熊本県福祉協議会施設 QCサークル講演およびQCサークル活動指導
- 福岡県、熊本県、鹿児島県、大分県医療関係講演およびQCサークル活動指導

～メッセージ～

昨今の厳しい経済状況をみますと、いかにコストダウンを図るか、いかに魅力ある商品やサービスを、いかに魅力あるサービスを提供できるかが大きな経営課題となっています。職場の活性化諸問題の解決などを行う有効な手段として小集団活動は不可欠です。小集団活動を通じて切磋琢磨し能力を向上させ、企画し問題を解決、標準化できる人を経営者は求めています。「企業はひとり」と申します。あなたが変われば職場が変わる。職場が変われば企業、病院が変わる。QCサークル活動を通じて、ものの見方、考え方、QC手法をマスターして下さい。その手法を日常の管理にいかして経営者が求める社員になり企業に、病院にまた社会に貢献できるきっかけ作りの研修会にして下さい。

会場案内

会場：学校法人 银杏学園 熊本保健科学大学

住所：〒861-5598 熊本市和泉町 325

TEL：096-275-2111（代）

※カリキュラムに関するお問い合わせは受付けておりません。

地図



広域

周辺

詳細なアクセス方法につきましては、熊本保健科学大学ホームページ
<http://www.kumamoto-hsu.ac.jp/>にてご確認下さい。

必要備品

研修会参加に際して各自で持参いただくものに関しては下記に示すとおり。

- ・ 筆記用具
- ・ 印鑑：参加証明に使用します。
- ・ 名刺：参加者同士の自己紹介や講師との交流に使用します。
- ・ 電卓：12月の研修会で使用
- ・ 定規：15cm以上のもの

その他ご不明な点に関しましては、下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

（医）相生会 にしくまもと病院 理学療法課 前田 英児（教育部長）

T E L : 0 9 6 - 3 5 8 - 1 1 1 8

E-Mail : rptmaeda@yahoo.co.jp